

令和6年度 東京都立江戸川高等学校（全日制課程）学校経営計画

「進学指導推進校」として再指定2年目となる。4年制大学への進学実績は年々向上してきたが、一昨年度より減少に転じた結果となっている。生徒の進路について高い志を持った希望進路の実現を図っていくとともに、本校創立以来の気風とも言える「文武両道」の実現に向け、高いレベルでの両立を推進していく。

このためには、都立高校で一番仲の良い教職員集団を目指し、生徒にとって最大の教育環境となり、生徒のためには労を厭わない生徒第一主義で取り組んでいく。

I 目指す学校

1 スクール・ミッション

主体的な問題解決、計画的な行動、高い規範意識と自尊尊重、総合知をもって学びを人生に生かすことができる人物の育成を目指し、進学と部活動の両立や活発な学校行事と自然体験合宿などの体験活動を通して、合理性、積極性、自主性、協調性の4資質を備え、学びを自分と世界の幸福に生かす生徒を育成する。

2 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

- ・本校の教育目標である「合理性、積極性、自主性、協調性の4資質を備えた人格陶冶」のもと、文武両道を奨励し、真に自立し社会に貢献できる人材を育成する。
- ・「進学指導推進校」として、生徒の高い志の進路が確実に実現できる学校であるとともに、すべての教育活動を通して生徒の主体性を育てる。
- ・「伝統は守るものではなく、日々新たに作り出すもの」をモットーに、個性豊かで創造力・行動力に富む人材を育成する。

(2) カリキュラム・ポリシー

- ・「進学指導推進校」として、生徒一人一人の学力向上への組織的取組（学習指導）
- ・キャリア教育の視点に立ち、将来の生き方を見据えた教育活動の展開（進路指導）
- ・自律的生活習慣・規範意識の徹底及び調和のとれた人材育成（生活指導）
- ・真の文武両道を目指し、自主性・自立性の涵養（特別活動・部活動、健康づくり）

(3) アドミッション・ポリシー

- ・「進学指導推進校」「Sport-Science Promotion Club」の指定を受け、進学指導及び部活動に重点を置き、努力を惜しまず高い志をもつ生徒を希望する。

II 中期的目標とその達成に向けた方策

生涯にわたって自ら学び続ける姿勢を持ち、常に一段高い目標を自ら設定し、それを実現するために主体的に努力し続ける力を育成する。

1 「進学指導推進校」として、生徒一人一人の学力向上への組織的取組（学習指導）

- (1) 授業内容や指導方法の工夫・改善による基礎・基本の確実な定着と応用力の育成
- (2) 基礎・基本を元に自分の考えを構築し、発信・議論できる力を養う
- (3) 「予習→授業→復習」の学習習慣の定着
- (4) 少人数授業や日常及び長期休業日中の補習・講習を実施し、「学び合う仲間」の形成

2 キャリア教育の視点に立ち、将来の生き方を見据えた教育活動の展開（進路指導）

- (1) 3年間のキャリア教育の全体計画に基づき、計画的・組織的な進路指導の充実
- (2) PTA、菱野会、蓮葉会（同窓会）等との連携強化及び講演会等の実施

3 自律的生活習慣・規範意識の徹底及び調和のとれた人材育成（生活指導）

- (1) 落ち着いた学習環境を確保し、心身ともに健全な人間の育成
- (2) 人権意識・社会性・規範意識を養い、自律的生活習慣の徹底

(3) いじめの未然防止・早期発見・早期対応を徹底し、安心・安全な学習環境の整備

4 真の文武両道を目指し、自主性・自立性の涵養（特別活動・部活動、健康づくり）

(1) 豊かな心とたくましい体を養い、高いレベルの「文武両道」を実現

(2) 学校保健計画に基づく心身の健康づくりの推進と自他の生命の尊さの指導

(3) 防災教育や安全教育を通して、事故防止に努め、「自助」、「共助」の精神の育成

5 生徒募集の改善と充実（募集・広報活動）

(1) 特色ある取組や教育活動を積極的にホームページ等で公開

(2) 学校説明会・見学会、授業公開、出前説明会の実施

6 学校経営・組織体制

(1) 企画調整会議を中心に、校務分掌内の協働体制の推進及び施設設備の検討・改善

(2) 全・定教員間の交流及び相互理解の上に立った組織運営の推進

(3) 生徒による授業評価及び学校運営連絡協議会による学校評価アンケートの活用

(4) 教科会を軸にして、学力と進学実績の向上

(5) 新教育課程及び観点別学習状況評価を適正に実施

(6) 統合型校務支援システムの全学年導入、全学年生徒の一人一台端末の活用、定期考査採点・分析システムの活用を促進する。

Ⅲ 今年度の取組目標とその達成に向けた具体的方策

1 教育活動の目標と方策

(1) 学習指導

- ① 学カスタンダードに基づく教科の到達目標を明確にし、指導と評価の改善により学力向上を図る。
- ② 全教科・科目で難関大学受験等に対応した「学習課題」、「実力テスト・課題テスト」、「補習・講習」等、計画的・体系的な学習指導を行う。
- ③ 自学自習の支援として、放課後の講習・補習の実施と自習室の開放（週3日）を推進する。
- ④ 予習・復習の習慣化のために、宿題、週末課題の提出とその小テスト等を行う。
- ⑤ 土曜授業、放課後・長期休業日中の講習等を積極的に行い、基礎力の定着・応用力の向上を図る。
- ⑥ 授業公開や各研究授業等を利用し、教員相互の授業見学を実施する。
- ⑦ 第2学年・第3学年で「スタディマラソン」を実施する。
- ⑧ 考えさせ、考えをまとめ、発表等し、議論する授業等の展開を推進する。
- ⑨ ICT機器を活用した授業研究・実践を推進する。
- ⑩ 教科「人間と社会」では、菱野山荘を活用した自然体験合宿を実施し、自然と人間との関りについて探究するとともに、地域の保育園等と連携しパートナーシップを築くことについて体験的に学ぶ。
- ⑪ 教員の校外での研修を、校内の学習指導に還元させる。
- ⑫ 教科指導において、適切な单元の中で日本の伝統・文化、国際理解を深めるグローバルな視点を育成する。海外とのオンライン英会話を通じて自らコミュニケーションをする態度や国際感覚を育む。

(2) 進路指導

- ① 1年生からのキャリア教育を充実させ、将来設計のための学力と人間力の向上を目指す。
- ② 進路部と学年、教員相互、外部機関との連携を図り、体系的な進路計画のもと、きめ細かな進路指導を充実・発展させる。外部予備校講師による校内予備校を全学年で計画的に実施する。
- ③ 学力到達度や模試分析会、大学入学共通テスト等の分析会、ケース会議への参加者拡大を推進し、教員の進路指導力を高め、個々の生徒の実態に合った進路指導を行う。
- ④ 総合的な探究の時間において、持続可能な開発目標（SDGs）を取り上げて、世界をよくするために何ができるかを考察するとともに、進路実現に向けて課題を解決する能力と探究心を身に付けさせる。
- ⑤ 教員による外部研修会参加、先進校視察等を積極的に行い、最新の進路関連情報を収集・活用し、進路・学習指導の改善に努める。

⑥ 主権者教育を通して、社会の形成者として求められる力を身に付けさせる。

(3) 生活指導

- ① 学校や社会におけるルールやマナーを身に付けさせ、社会の常識や規範意識を身に付けさせる。遅刻指導、各教室の3S（整理・整頓・掃除）、自転車通学時のヘルメット着用を徹底する。
- ② 挨拶を基本とした礼儀を重視する指導を行い、心身の教育（道徳教育）を実践する。
- ③ 教師と生徒、生徒同士のコミュニケーションや触れ合いを大切にし、人権尊重の教育を推進する。
- ④ 全定並置校として、両課程の学校生活がより円滑になるよう連携・協力を深める。

(4) 特別活動・部活動

- ① 学習・進学指導と特別活動をバランスよく両立させることで、学校生活全般の充実を図る。
- ② 生徒会・実行委員会の主体的活動を引き出すことにより、人間力を高め、江戸川高校の伝統を継承する体育祭、文化祭、合唱祭の3大行事をより一層充実させる。
- ③ 生徒会活動（委員会活動・HR活動等）の活性化を図り、生徒の自主性・自立性を向上させ学校生活の満足度を高める。
- ④ エンジョイスportsプロジェクト指定校の取組によりSports志向を高めさせる。複数の部活動において文化・Sports等特別推薦を実施し、全国・関東大会等の出場を目指す。

(5) 健康づくり

- ① 防災教育、薬物乱用教室など、生徒の生命・安全を守るための指導を徹底するとともに、危機管理体制を強化する。
- ② いじめに関するアンケート調査やスクールカウンセラーとの連携を密にして、生徒の心の変化を早期にかつ適切に把握し、いじめの早期発見や自殺の予防対策を充実させる。
- ③ 体力テストの実施とともに、健康づくり・体力向上のための体制を整え、体力向上に向けた組織的な取組を行う。
- ④ 特別支援教育コーディネーターを中核として、発達障害のある生徒や配慮の必要な生徒の心のケアに対する理解を深め、情報を共有して組織的な指導を実践するなど、特別支援教育の充実を図る。
- ⑤ 学校保健委員会を中心に保護者、地域、関係機関との連携を強化し、生徒の健康づくりを推進する。
- ⑥ 感染症やアレルギー反応への対応等に対する意識を高め、その発生や感染拡大を抑える。
- ⑦ 清掃活動の徹底やゴミの分別・減量に努め、校内の環境整備を推進する。

(6) 募集・広報活動

- ① 学校ホームページを月10回程度更新していくことで、在校生や中学生及びその保護者等地域の方々に適時・適切な情報を発信する。都立高校PR事業による学校紹介動画の制作・発信等を行う。
- ② 中学校との連携を図り、授業公開、出張授業、学校見学・説明会、部活動体験入部等を充実させる。
- ③ 生徒による出身中学校への訪問を行い、本校の教育活動の特色を理解した入学者を増やす。
- ④ 通常の土曜授業、年3回の学校公開（土曜日）を保護者、地域住民等に広く周知する。

(7) 学校経営・組織運営

- ① 企画調整会議を軸に組織的な学校経営を行うために、企画調整会議前の分掌部会、学年会、教科会、委員会等で協議を重ねた最善策を校長・副校長に提言させる。
- ② 学校運営連絡協議会による学校評価等を活用し、地域や都民のニーズを的確に把握し、学校経営に反映させる。
- ③ 個人情報安全管理基準に基づいた個人情報の管理を徹底する。
- ④ 服務事故防止を徹底し、服務事故ゼロを目指す。
- ⑤ 危機管理体制の再点検・再構築を行ない、安全管理体制を整備する。
- ⑥ 学校マネジメント事業を活用して、業務のスリム化や合理化・効率化を進める。
- ⑦ ライフ・ワーク・バランスの推進につながる休暇取得、夏季休暇取得、閉庁日の活用を促す。
- ⑧ 経営企画室の機能を一層高めるとともに、経営企画室と教員の連携を深める。
- ⑨ 生徒の活動、環境整備等にPTA、菱野会、蓮葉会（同窓会）、江友会（保護者OB会）等との連携

を図る。

2 重点目標と方策

(1) 「進学指導推進校」として、学習指導及び進路指導の更なる充実を図り、生徒一人一人の学力向上と希望進路の実現を目指す。

- ① 学力分析会での検討を教科会で授業改善の具体化につなげ、教科全体の授業力向上を図る。
- ② 進路説明会・講演会の充実及び校内予備校事業の活用により、第一志望の決定に際し、安易な妥協をすることなく高い目標にチャレンジさせる進路指導を行う。
- ③ 大学入学共通テストを利用した受験指導をより一層発展させる。
- ④ 第2学年・第3学年対象の「スタディマラソン」を充実させる。
- ⑤ 各学年において、朝学習を実施する。
- ⑥ 読書力・読解力を高めていくために、読書活動を充実させる。
- ⑦ 英語力を高めていくために、英検資格取得を推奨する。

【数値目標】

<1> 定例・年間計画に基づく教科会	合わせて16回以上
<2> 進路説明会・講演会	12回(講座)以上
<3> 国公立+早慶上理+GMARCH	合格者120名以上(国公立10、早慶上理10)
<4> 成成明國武芝	合格者100名以上
<5> 大学入学共通テスト	出願者数90%以上 8科目受験者5%以上 科目の得点率8割以上が10%以上を10科目以上

(2) 「文武両道」の実現とともに規範意識を高めさせることで、達成感・成就感を体得させる。

- ① 部活動や学校行事・生徒会活動等を通して、より豊かな人間関係の構築及び目標を達成させることで成就感や自己肯定感を高めさせる。
- ② 遅刻・外出・下校時の指導や頭髪指導、身だしなみ指導をきめ細かく行い、自律的生活習慣を身に付けさせる。
- ③ 未然防止や予防的指導の考えのもと、薬物乱用防止、交通安全などに関するセーフティ教室及び生命尊重教育を実施する。特に自転車乗車マナーに関する指導を強化し、登下校時の事故防止を図る。

【数値目標】

<1> 部活動加入率	90%以上
<2> 近隣の中学生を招いた交流練習会等	30回程度
<3> 登下校時の自転車による事故	0件
<4> 遅刻指導生徒数	100名以下
<5> 頭髪指導生徒数	10名以下
<6> いじめ件数	0件

(3) 本校の特色ある教育活動のPRとその成果を積極的に発信し、本校の魅力を理解した入学生を増加させる。

- ① 本校の特色をわかりやすく伝えられるよう、学校見学・説明会については、都立高校PR事業を活用して工夫・改善する。
- ② 広報用のパンフレット・ポスター等の改善を図る。
- ③ ホームページを重要な広報手段と位置付け、内容・見やすさの工夫を図る。

【数値目標】

<1> 体育祭への来校者数	1000名以上
<2> 文化祭への来校者数	4000名以上
<3> 学校見学・説明会への参加者数	3500名以上(校内実施のみ)
<4> 入学選抜の応募倍率	1.7倍以上